2021年度NPO法人愛実の会事業計画　法人概況

1．実施事業の概略

特定非営利活動法人愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指している。

そのために下記のような事業を行い、実施する。

① 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業。

② 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業。

③ 障害者総合支援法の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業。

2．2021年度法人運営方針

以下の項目を今年度の活動方針として掲げ、日常の取り組みを行っていく。

① 新型コロナウイルス対策として、できる限りの環境整備を講じて、メンバー、家族、職員が安心できる事業の継続を目指し、感染症や災害が発生した場合の対応力を強化する。

② NPO法人設立15周年を迎え、将来のビジョンを明確にするため、コンセンサスを得る一年とする。

③ コミュニケーションの円滑化を重視し、個々の気づきを大切にした取り組みを行う。

④ 愛実の会の活動を地域社会に紹介をしていく。新パンフレット制作。

3．事業の実施に関する事項

①特定非営利活動に係る事業

（1）生活介護事業について

契約メンバー数30名（2021年4月1日現在）

コロナ禍において活動の制限がある中でも、2つの部署（大地の家18名・紙風船12名）メンバーの一人ひとりの笑顔を大切に、安心できる関係と居場所を確保していく。

アシスタント・メンバーが共に寄り添い合う場として、それぞれの特徴を生かし自由な発想と創造力を生かした活動を実践していく。

また、地域との関わりや社会参加を大切にしながらイベントを企画開催していく。

（2）居宅介護及び移動支援事業について

メンバー、家族の高齢化重度化への対応として喀痰吸引等医療的ケアの体制を整え、相談支援事業所及び他事業所と連携し、支援の輪を広げながらメンバーの地域生活を支えていく。

（3）独自サービス事業について

緊急時の対応、その他必要なニーズに柔軟に対応できるよう努めていく。

②アシスタント体制について

●アシスタント総数38名（2021年4月1日現在）

○正職員　17名：生活介護管理者1名、サービス管理責任者2名、生活支援員10名
居宅管理者1名、サービス提供責任者1名、居宅ヘルパー1名、調理員・事務1名

○嘱託職員　2名：医師1名、生活支援員1名

○パート　2名：生活支援員2名

○アルバイト 17名：生活支援員4名、看護師1名、送迎運転手5名、清掃員1名、調理員3名、
登録ヘルパー2名、リトミック講師1名

③ 研修について

●法人全体研修会　4月29日（木）　場所：障がい者デイセンター愛実

〇理念の共有　～愛実の誕生から学ぶ～

〇NPO愛実の会設立15周年について

〇新年度各部署の目標の共有

〇個人情報の取扱いについての研修

〇コミュニケーション研修

●正職員については専門研修への参加を計画的に実施し、キャリアアップに必要な資格取得を応援する。

④ 福利厚生について

●健康診断、インフルエンザ予防接種助成、セルフケア助成、腰痛ベルト購入助成

●正職員アシスタントに対する福利厚生センター（ソウェルクラブ）への加入継続。

⑤ 実習生・見学等の受け入れについて

●各部署の受け入れ態勢に応じて対応していく。見学者については出来る限り受け入れて行く。

⑥ ボランティア等の受け入れについて

●ホールイベント、紙風船サークル・交流会、その他イベント等積極的な受け入れを行う。

4. 会議の開催に関する事項

①総会

●通常総会　5月29日（土）　決算及び予算　法人・各部署の事業報告および事業計画

②理事会

●四半期開催を予定する

③定例会

●随時開催（昨年度は0回）これからのビジョンの話し合い及び学びの場として行う。

④その他の会議

●運営会議(毎月第1・3火曜)、シフト会議(必要に応じて実施)、各部門別＆ケース会議、防災会議(随時)

●全体ミーティング（毎月第3火曜）

5. 寄付等について

●寄付金の目標額200万

（内訳：アシスタント体制の充実、紙風船人形劇の製作等として使用）

※認定NPO基準PST＝年3,000円以上の新たな寄付者を増やしていく。

6. 法人正会員の状況

●2020年4月1日現在45名

（内訳：メンバー家族22名・アシスタント17名・協力者4名・理事2名）

7. 会計の状況

2年目のコロナ禍においても、大きく左右されることになるが、収支と人件比率のバランスを考慮し予算統制を行っていく。感染による休業事態に対応する保険に加入。また、安心して事業が継続できるよう、必要に応じて融資等の策を講じる。

2021年度 生活介護：大地の家　事業計画

計画概要

事業期間	2021.4.1-2022.3.31
当事業年度 テーマ	メンバーの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す。 そのために、ただ横に寄り添うだけではなく、メンバーの視線に立ち、メンバーにとって何が必要であるかを模索していく。 アシスタントの思いが優先されるデイケアではなく、メンバーにとってのデイケアを念頭に、メンバーとのかかわりを大切にしていきたい。 「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や日常の活動に季節を感じられるような取り組みを計画しつつ、外での活動も行っていく。 また、今年度は新しい生活様式を理解し、その中で新しい取り組みを行っていく。 制約を多く受ける年となるが、その中で楽しめることを最大限みんなで協力し楽しんでいくようにしたい。

年間外出計画

具体的内容	具体的内容
花見（神宮東公園）	白鳥庭園
ガーデンふ頭	ワイルドフラワーガーデン
熱田神宮	宮の渡し
千年プロムナード	いろは橋周辺

昨年度は予定していたすべての外出が中止となった。
生活介護事業所全体として、今年度は飲食を伴わず、密にならない屋外への外出であれば可能だろうとしている。
近隣への散歩の延長線上にあり、あまり人が集まらない場所を探し、上記のような場所への散歩外出を検討している。
入場施設（白鳥庭園等）は人が集まりやすいため、状況によっては不実施とする。
木場町内での散歩では体感できないような場所へ、メンバーとともに出かけたいと思う。

また、イエローレシートキャンペーン（イオンスタイル名古屋茶屋店）店頭活動への参加は予定していない。（団体登録はしているが、感染症の影響により不参加の予定）

月次活動計画

目安	具体的内容
月数回	音楽活動（ミュージックケア、アシスタント企画）
月2回	リトミック（外部から講師を招いて音楽活動に取り組んでいく）
月1回木曜	茂吉さんのプログラム（講師による口唇刺激等の実施）
月1回	その月に誕生日を迎える人のお祝いをする（旬の食材を用いて）
月1～2回	季節の食材を使ったお菓子作り
月2回	壁画作り（各月ごとにテーマを決め、季節やイベントなどの壁画作成）
3か月おき	天井飾り作り（季節ごとのテーマに沿い、複数回に分けて制作）

季節毎の活動計画

月次	具体的内容
4	新メンバー歓迎会・花見
5	端午の節句・母の日
6	父の日
7	七夕・暑中見舞い
8	流しそうめん

季節毎の活動計画	9	十五夜
	10	ハロウィン
	12	クリスマス会・車いすの掃除
	1	鏡開き・書初め・初釜・成人式
	2	節分・バレンタインデー
	3	ひな祭り・ホワイトデー

日常の活動計画

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年となった。
未知のウイルスに翻弄され、これまでに経験したことのない対策を取らざるを得なかった。
その結果、外出活動だけでなく室内での活動にも大きく制限を受けることとなった。

2021年度は昨年度からの対策を継続しつつ、昨年度よりも活動の幅を広げていきたい。
コロナ禍において、安全安心に留意しつつ「何ができるか」「何が楽しめるか」を模索していく。
外出については既出の通り、工夫を凝らしながら蜜を避け、必要な対策をとりつつ実施していく。
室内での活動についても、感染対策を念頭に置きつつ楽しめることを見つけていきたい。音楽活動やふれあい体操を軸に、創作活動、レクリエーション、お菓子作りなどを行っていく。
特に外出がしにくくなったことで、季節を感じられにくくなった。
これまでは花見や紅葉狩りなど季節を感じられる外出に注力していた。
季節を感じられることを大切にし、室内での活動でもより季節感が伝わる活動を行いたい。
誕生日会、お菓子作りなどでは、季節の果物や旬の食材を用いることを念頭に置いて企画したい。
また、レクリエーションや創作活動においても、メンバーが主体的に参加できる方法を模索し続けたい。

2021年度は新たに1名の新規メンバーの通所が始まる。
新しいメンバーのことをアシスタントが知り、把握するだけでなく、新しいメンバーにも大地の家のメンバーやアシスタントのことを知ってもらい、相互理解を深められるようにしたい。
また、新しくはいるメンバーだけでなく、長く大地の家に通っているメンバーに対しても、メンバーの思いを汲み取り、寄り添っていくという姿勢は常に持ち続けたい。

コロナ禍において人との接触を極力避けることで孤立しがちになるように思うが、メンバーとアシスタントのそれぞれがお互いを大切に思い尊重することで、自分たちの間にあるつながりを大切にしていきたい。

その他

		月	火	水	木	金	土	計
人員配置	メンバー	9-11名	10-11名	8-10名	9-10名	9-10名	8-10名	53-62名
	アシスタント	9名	10-11名	8-9名	9名	9名	8-9名	53-57名

アシスタントに関して	●2021.4より、女性正職員4日/週→5日/週に勤務日数変更
メンバーに関して	●2021.4より、男性メンバー1名、(木)のみ新規通所開始。 2021.6より、上記メンバー(月)(火)(水)(木)の通所になる見込み。 ●新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、男性メンバー1名長期欠席中 (入居先施設方針により、復帰のめど立たず)

2021年度　生活介護：紙風船　事業計画

計画概要

<table>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">2021.4.1～2022.3.31</td></tr>
<tr><td rowspan="2">当事業年度
テーマ</td><td colspan="2">～2021みんなのいいねを広げよう～

①楽しく元気に出かけよう　②ふれあいつながり大切に　③心からの笑顔を広げよう</td></tr>
<tr><td colspan="2">コロナウィルスの感染拡大により人形劇公演、外出、また外部との交流もありませんが、SNSを最大限に活用し、たくさんの方々とのつながりを大切にしていこうとサブタイトルをみんなで考えました。テーマの内容は継続です。みんなで笑顔を大切にいいねのエールを広げていきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">人形劇
活動計画</td><td></td><td>内容</td></tr>
<tr><td>人形劇講座</td><td>人形技術家おばらしげる先生による演出、演技指導等　月1実施</td></tr>
<tr><td>人形劇練習</td><td>新しい劇を製作中。(完成日は8月予定)</td></tr>
<tr><td>発声練習</td><td>言語療法士茂吉和代先生の発声、滑舌、口腔体操等　月1実施</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人形劇公演予定</td><td>予定月日</td><td>内容</td></tr>
<tr><td colspan="2">5月現在、公演依頼を頂いておりますが、コロナウィルス
感染拡大防止のため慰問公演を受けておりません。
ZOOM、Teams各アプリを使いリモートにて人形劇公演を受けていく予定。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">その他の
活動計画</td><td>実施予定月</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>6月、10月</td><td>コロナウィルス蔓延の収束の見通しが立ちしだい活動報告会を開催予定。</td></tr>
<tr><td>毎月</td><td>映画鑑賞会。最新の映画から旧作まで鑑賞する。作品は仲間の会にて検討。</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>レク</td><td>決行月　行先</td></tr>
<tr><td colspan="2">5月現在、新型コロナウイルス蔓延の収束の見通しは立っておらず、愛実の会としても外出がいつできるようになるかわからない状況です。事態が収束に向かい、愛実の会でも外出が再開できる見通しがついたのちに出させていただこうと思います。</td></tr>
</table>

活動計画	宣伝活動	Twitter、YouTube、facebook、HPを最大限に活用し情報発信の充実。 パンフレット、チラシ、名刺制作。また、リモート見学も受付中。
	グッズ活動	SNSアプリを使い販売。実用的な新作検討、制作をする。 公演先のグッズ販売だけでなく、売れる場所を広げる。
	夢づくり活動	日中活動の充実。表現練習、発声練習、川柳を行っていく。 また、公演プログラム、前座を考えキャパを広げていく。
	体力づくり	日頃の活動の充実。人形劇を元気に演じる為、健康維持を目的。 近隣の公園で車イスの自走、体操。室内バスケやホッケーを実施。
	身体のケア	日頃の活動の充実。人形劇を元気に演じる為、健康維持を目的。 介護予防体操、体幹ストレッチ、マッサージ、足湯など実施。
	サークル活動	各曜日サークルに分かれ、それぞれの取り組みたい事を行っています。 ※メンバーさん希望者のみ。サークル以外もメンバーさんは通常活動。 (サークルメンバーさんは給料対象外)
	仲間の会	月に1回実施。公演予定確認、各活動報告。時にはメンバー アシスタントを交えテーマを決めての話し合いも行います。 (メンバーさんお給料日)
	夢づくり基金	目的を明確にして随時呼びかけをしていく。法人会報にも掲載。 人形、小道具の修理。新作の制作費として使用していきます。
	イエローレシート	2021年度はイエローレシート呼びかけは団体数が多いため参加なし。
	お誕生日会	メンバーさん、アシスタントの誕生日月に開催。愛実の会法人から プレゼント(メンバーさんのみ。毎年変わります)、花束(アシスタントも)
	その他	コロナウィルスが緩和され次第、学生ボランティアさん、外部のボランティアさんの受け入れを広げて人形劇活動、日中活動の活性化、充実を目指します。また、リモートを活用しコラボレーション活動も検討する。

人員配置

	月	火	水	木	金	土	計
メンバー	2～3	4～5	5～6	6	7	5～7	29～34
アシスタント	2	4	4～5	6	6	5～7	27～30

その他	メンバー給料:1日150円　継続
	コロナウィルスが終息するまでは、外出や公演予定が立ちませんが、人形劇の新作制作に力を入れていきます。また、室内でできる活動の充実をみんなで相談して楽しい活動を考えていきます。

2021年度　居宅介護事業所あみ事業計画

● 目標

・当法人の生活介護事業所（障がい者デイセンター愛実）に通所しているメンバーへのサポートを中心に居宅介護サービスの内容を充実させていく。
・サービスの質の向上のための研修及び職員の相談体制を密にしていく。
・シェアハウス等メンバーの地域生活支援の課題を明確にして取り組むため、メンバー家族の声を聴き、個々の地域生活の在り方についての理解を深めていく。
・医療的ケア体制の充実を図り、安心安全なケアの提供に努める。
・新型コロナウイルス感染のリスクを十分考慮しながら必要な予防策を講じる。

● サービス提供内容

24時間365日のケア・入浴介助、通院や余暇支援のための外出支援等
① 居宅介護事業：身体介護（基本計画3時間以内）・家事援助・通院等介助
② 重度訪問介護事業：重度訪問介護（基本計画3時間以上）・加算移動（外出支援＝ｶﾞｲﾄﾞﾍﾙﾊﾟｰ）
③ 地域生活支援事業：移動支援　（外出支援＝ｶﾞｲﾄﾞﾍﾙﾊﾟｰ）

● 人的体制

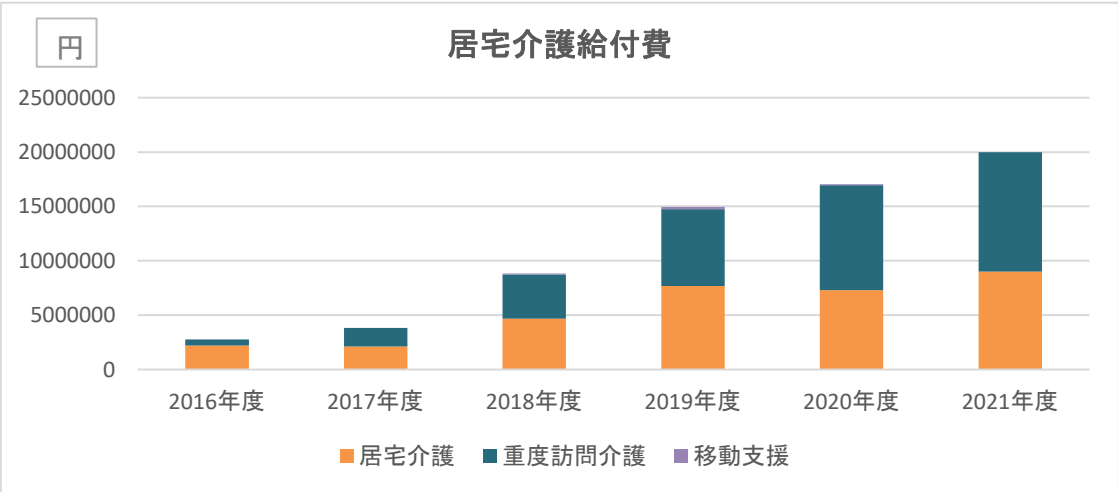
今年度は育休明け正職が戻り、支援の拡充が見込まれる。更に次年度に向けては男性職員の確保を目指す。

● 相談体制

・月1回の居宅会議を定例開催し、職員全員参加とする。また、運営会にて情報の共有を図る。
・サービス提供について報告・伝達・相談及び連携を密にしていく。
・相談支援事業所からの基本計画に基づき、その都度利用者・家族の意向に寄り添いながら、介護計画を作成または見直しを行い、サービスの提供を行っていく。

● 介護給付費の変遷（2016年度-2021年度予算）

	居宅介護	重度訪問介護	移動支援	合計	前年度比　円
2016年度	2,205,015	558,385	0	2,763,400	0
2017年度	2,107,789	1,732,404	0	3,840,193	1,076,793
2018年度	4,668,670	4,081,380	69,000	8,819,050	4,978,857
2019年度	7,689,898	7,065,636	198,000	14,953,534	6,134,484
2020年度	7,310,617	9,652,723	87,500	17,050,840	2,097,306
2021年度	9,000,000	11,000,000	0	20,000,000	2,949,160



2021年度 管理部門事業計画

●給食管理(小久保)

事業方針	事業内容
○ 保健指導、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理に基づく調理を行う	○ 季節を考慮した食材の発注、献立の作成
○ 汁物の塩分・食事の温度管理・栄養等「健康な食事」を提供する	○ 調理員の検便、食中毒発生防止、感染予防
	○ 食物アレルギー・嚥下障害に関する配慮

●車両管理(竹内)

事業方針	事業内容
○ 安全に車両が運行できるよう、故障等を起こす前に整備・点検を行う	○ ドライバーによる洗車、車内清掃を随時実施
	○ 各車両年に2回オイル交換の実施
	○ 車検や点検を(株)メカノスに依頼、修理も同様
	○ (株)メカノスにて、12か月点検と同時にリフトの清掃・点検も実施
	○ 車両の状態に応じ、新車両の導入検討

●防火防災管理(佐藤)

事業方針	事業内容
○ 防災訓練の実施	○ 災害発生時に真栄マンション自治会と協力し合える体制作りを行う
○ 火災予防上の自主点検実施	○ 日常から心がけるとのできる事柄を取り入れた訓練をメンバーを交えて行いたい
	○ 地震、津波、火災など複合的な防災訓練の実施を検討したい
	○ 非常食・保存食の確認、更新

●会報担当(小久保)

事業方針	事業内容
○ 見やすい会報つくり	○ 年3回の会報発刊(7月・11月・3月) 校正を決め、各担当への原稿依頼
○ 職員が参加できる書面つくり	○ 全体の編集・校正の確認、入稿、発送準備等
	○ 会報を通して「愛実の会」への理解を深めてもらい、寄付者を募っていく
	○ 愛実の会(各部署)の現状をわかりやすく発信していく

●HP担当(戸田)

事業方針	事業内容
○ 愛実の会の見える化の促進	○ 愛実の会の魅力を発信していく
	○ 各部署の活動紹介を活性化していく
	○ 会報の掲載及び最新情報の更新を行う